

平成 21 年度事業報告書

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 奥州街道会議

1 事業の成果

第 1 の目標としていた地域活性化支援の仕組みづくりについては内閣府の地方の元気再生事業を活用して今年度、街道をキーワードとした交流人口の創出と 6 次産業化の試行を行った。昨年度からの検討していた街道案内（道しるべ）の設置や街道ガイド養成、交流人口受入の拠点施設となる「街道の駅・茶屋・市・宿」の制度設計と試行のための募集ができた。

しかし、2 年間の継続事業を予定していたが単年度契約への変更となったこともあり、2 年目に予定していた受入体制の本格実施や事業化へ向けた検証は、さらに自主継続する必要がある。

また、平成 21 年度には、これまでより活動範囲、重点地域を拡大することができた。岩手県盛岡市から青森県野辺地町までの選奨土木遺産登録に向けては、自主的な取り組みの中で調査、登録が決定し、さらに周知のためのフォーラムも開催することができた。

宮城県では、みやぎ街道交流会との連携もあり宮城県栗原市の活動がより一層活性化したほか、岩手県内では、これまで活動の中心であった盛岡市から岩手県北だけではなく、金ヶ崎町のまちづくり団体との連携もできた。さらに青森県においては、東北町を中心としたガイド養成講座やモニターツアー等の開催、青森市での交流大会運営支援や活動を行うことができた。

第 2 の目標としていた組織の環境整備について、年度内は専従職員の雇用を行わなかったため諸規程等の設置には至らなかったものの、平成 22 年度の採用見通しを立てることができ、諸規程類、手続き等について検討することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(千円)

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	収支計算 書の事業 費の単位 (単位： 千円)
奥州街道に関 係する交流連 携促進の実践 と支援事業	東北地区の活動団体・個人を対 象とした交流大会として、「とう ほく街道会議第5回交流会・青森 大会」の開催支援。	(A) 10月2日～3日 (B) 青森県青森市 (C) 5人	(D) 東北全域 の活動団 体・個人 (E) 266人	247
道を活用した 地域づくり活 性化の実践と 支援事業	地方の元気再生事業「みちのく の街道・交流人口創出のための6 次産業創造プロジェクト」にて、 地域団体と連携し、街道をキーワ ードに6次産業化による地域活性 化を目指し、街道ガイドの養成や 案内板の設置実験、交流人口受入 のための拠点施設整備を実施。	(A) 8月～3月 (B) 宮城県栗原市、 岩手県二戸 市・一戸町、青 森県三戸町、七 戸町、東北町、 野辺地町 (C) 4人	(D) 各地域の 地域づく り団体、 個人、各 県の街道 団体 (E) 702人	11,490
道に関する政 策提言事業	「奥州街道温故知新の道づく り業務」の実施。昨年度までの活 動範囲を拡大し、矢巾町、金ヶ崎 町の地域づくり団体と連携して 新たに街道をキーワードにした まちづくりの提案を行った。	(A) 8月～3月 (B) 岩手県盛岡市 矢巾町、金ヶ崎町 (C) 16人	(D) 地域づ くり活動 団体 地域住民、 一般市民 (E) 91人	236
その他この法 人の目的を達 成するために 必要な事業	とうほく街道会議の事務局運 営、ほか、各地域団体の活動支援 を行った。	(A) 4月～3月 (B) 東北全域 (C) 3人	(D) 地域住 民、団体 (E) 30人	356
	みやぎ街道交流会との協働、サ ポーター会員の協力を得て、宮城 事務所の運営を実施した。	(A) 4月～3月 (B) 岩手県盛岡市 宮城県仙台市 (C) 10人	(D) 会員 (E) 70人	3,616